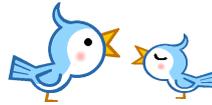


兄弟姉妹が揃う練習 in美咲野 引き渡し訓練準備



授業再開初日。やはり子どもたちが学校にいるときに地震が起きたら・・・を考えます。本当は外に集合させたかったのですが、雨。一番下の弟妹の教室に集合し、集合がすんだら、学校開放日と同じように時間をずらして、下校させました。しかし、問題山積。宮城県の佐藤先生に「失敗して課題を見つけることが大事」と言われていたものの、やっぱり「あ～あ・・・」と思います。そのときの様子はこうです。ある低学年の学級は移動開始10分後にきちんと兄弟姉妹が揃っているのに、ある学級はその5分後でも未だ混乱状態。また揃ったらどうするかの確認をしていなかったため、1Fと2Fに分かれて確認に回る人が必要でした。また、逆方向に動く子が多数。(上靴を置きに自分の教室に戻るとか、忘れ物をしたとか) また担任からの事前指導の不足で移動し始めてからトイレに行っている子まで・・・結局、1回目の移動の指示を出したのが13:40 下校完了が14:25。45分もかかったのです。しかもあちらこちらから大きな声が聞こえ、終始ザワザワ。その後の職員会議で右の3点を確認しました。

5/9(月)雨 教室集合 1回目

- ①目的を子どもに伝えること
- ②静かに移動
- ③引き返さない

5/10(火)雨 教室集合 2回目

翌日の2校時終了後の休み時間(美咲野小ではフレッシュタイムと呼んでいます。)荷物なしではありましたが、前日と同じことをしたところ、5分で移動できたとのこと(私は町校長会議で不在)。目的をそれぞれの学年なりにきちんと伝えたこと、集合したときは学年主任が学年を集約し、職員室に内線電話で知らせるルールがうまくいったことが良かったようです。

5/12(木)運動場集合 1回目

やはり各教室からの避難経路を通して、運動場に集合する練習もしておかないと心配です。子どもたちが動揺しないように1回目「担任の先生の指示に従ってください。」2回目「運動場に出て下さい。」の放送でいわゆる避難訓練(子どもにはこの言葉は使っていません。)をしました。全員揃うのに、6分37秒 その5分後には兄弟姉妹が揃うことができました。

私から右の話をしました。この震災を通して私たち子どもたちも成長していています。

もし何かあったとき先生たちは全力で皆さんを守りたいと思っています。そのためには、素早く静かに行動すること、静かに話を聞くことができなければなりません。



大阪府から応援の養護の先生

5月16日(月)から5月31日(火)まで大阪府の養護の先生が美咲野小に応援に来てくれています。休校で、延期になっていた身体測定などの手伝いや、子どもの話を聞いたり、保護者の皆さんの相談にのったりすることを主にお願ひしています。相談をしてみたいとご希望の方は、下記に記入され、担任へ提出してください。(一応の〆切を5/25(水)としておきます。)希望状況に応じて日程を組み、お知らせをします。現在のところ、1週間毎に大阪の養護の先生は交代される予定です。最初は本田史歩先生が来られます。

また、5/13(金)にプリント配付しましたとおおり、EARTH 隊員による講話も左下の通り、予定しておりますので都合がつかれる方はおいで下さい。

5月16日(水)17:30~

ハンコン室

EARTH隊員による講話 「子どもの心のケアについて」

第7条

家族仲良く 食事・団らん 心と体に栄養を ~熊本県家庭教育十カ条より~



面談を希望します。

きりとり

*一応〆切を5/25(水)としておきます。

()年 ()組 名前 ()

連絡先 ()

美咲野小だより

5月

NO.8

H28. 5. 16

大津町立美咲野小学校 文責：草場ルミ子

校長室の窓から

一度に7号までびつしり書いた美咲野小だよりを配って保護者の皆さんに負担をかけたのではないかと心配していました。しかし、五月十三日(金)時点では、配った家族の状況「考えたこと」等のお返事をたくさんいただき、大変うれしく思いました。今でなければ書けない思いをみなさんたくさん持っておられることがわかりました。この美咲野小だよりでご紹介しようと考えていました。美咲野小の想いなどのタイトルで冊子にしようかなとも思っています。

